

医薬品

Business, Science and Technology Room

医薬品について調べるには、次のような本や雑誌があります。

このリーフレットで紹介している資料も含め、当室では、医薬品関連の資料は棚記号：SD81（書架④）に多く配置しています。

* 【 】内は当館請求記号です。記載のないものは、版・巻によって請求記号が異なります。

** 棚記号（例：（棚：SD81））は、科学技術・経済情報室内での資料の位置を示します。

1. 医療用医薬品

『JAPIC医療用医薬品集』

（日本医薬情報センター / 年刊）
（棚：SD81）

日本医薬情報センター（JAPIC）が入手した資料（添付文書など）を基に、医療用医薬品の医薬品名（日本語名、欧文名）、成分名、薬効、薬効分類番号、製品（商品名、会社名など）、組成、効能・効果、用法・用量、禁忌、相互作用、取扱い上の注意、薬効薬理、性状、備考などが掲載されています。巻頭には、五十音順索引があります。

『JAPIC医療用医薬品集：薬剤識別コード一覧』

（日本医薬情報センター / 年刊）（棚：SD81）

『JAPIC医療用医薬品集』掲載の医療用医薬品のうち、識別コード、包装コードのある品目が掲載されています。

識別コードの数字順、英字順、マーク順に、識別

コード、色・割線、商品名・会社名、一般名、規格単位、薬効と『JAPIC医療用医薬品集』の掲載ページが表にまとめられています。

『日本の医薬品構造式集』

（日本医薬情報センター / 年刊）（棚：SD81）

国内で流通している医療用医薬品のうち、一部の高分子製剤、低分子製剤などを除いた成分の構造式が掲載されています。

各成分の一般名、欧文名、薬効番号、効能・効果、構造式、分子式、分子量、化学名などが、一般名の五十音順に掲載されています。

巻頭には、五十音索引（一般名・製品名）とアルファベット索引（一般名のみ）があります。

『保険薬事典Plus +』

（じほう / 年2回刊）

（棚：SD81）

厚生労働省が告示した、薬価基準収載医薬品、避妊剤、ED治療剤、男性型脱毛症剤、放射性物質除去剤を対象としています。記号によって、先発医薬品と後発医薬品を区別できます。

巻頭には商品名、一般名、薬価基準収載名称（日本薬局方医薬品の局方名など）から検索できる品目索引と、投薬料点数早見表、注射料点数早見表、調剤報酬点数表があります。巻末には薬効分類目次、医薬品略名一覧、会社連絡先一覧があります。

『くすりの事典：病院からもらった薬がよくわかる』

（成美堂出版 / 年刊）（棚：SD81）

医療用医薬品、抗がん剤、在宅自己注射液、漢方製剤について、作用や使い方を収録した資料です。巻頭には、約3,500点の薬の写真を収録しています。また、「くすりの名前・成分名索引」や医学用語解説索引のほか、「主な〈病気別〉くすり一覧」なども掲載されています。

『今日の治療薬』

（南江堂 / 年刊）

【Z43-169】（棚：SD81）

薬効群ごとに分類し、冒頭の「解説」とその後にくく「便覧」で構成されています。「解説」では、薬剤や疾患の概要が、「便覧」では、各薬剤の詳細情報が記載されています。

巻末には薬剤索引と解説事項索引があり、五十音順とアルファベット順で検索できます。

『治療薬マニュアル』

（医学書院 年刊）

（棚：SD81）

最新の添付文書情報に、臨床情報を加えて編集した資料です。各章の冒頭には薬効分類一覧表と治療戦略がまとめられており、巻末には識別コード索引、欧文索引、和文索引があります。

『ジェネリック医薬品リスト』

（じほう / 年刊）（棚：SD81）

先発医薬品名からジェネリック医薬品（後発医薬品）を探せるようにまとめた資料です。厚生労働省がインターネット上で公開しているデータを基に、薬価基準収載医薬品を収録しています。内用薬、注射薬、外用薬に大別し、基本名（商品名 から、剤形などを省いたもの（例：強力ネオミノファーゲンシー 静注5mL → ネオミノファーゲンシー））と一般名をあわせて五十音順に、基本名、一般名（成分名）、薬効分類、規格単位、剤形、先発薬価、後発薬価、製剤特性などを掲載しています。巻末には、会社名一覧、商品名索引があります。

2. 一般用医薬品（市販薬）

『JAPIC一般用医薬品集』

（日本医薬情報センター / 年刊）

（棚: SD81）

日本医薬情報センターが入手した資料（添付文書など）を基に、国内で販売されている一般用医薬品（OTC）約11,000品目の医薬品名（商品名・欧文名・局方名など一般名）、販売区分、会社名、リスク区分（例：第1類医薬品）、組成、添加物、適応、用法、包装・価格、備考などが掲載されています。

巻頭には、五十音順索引、会社別製品索引があり、巻末には「配置販売品目基準」、「ブランド名別成分比較表」などの付録があります。

『OTC医薬品事典』（じほう / 隔年刊）

（棚: SD81）

OTC医薬品（一般用医薬品）、指定医薬部外品の製品名、会社名、特長、リスク区分（例：第1類医薬品）、成分名、含量、添加物、効能、用法・用量、製品特有の注意、製剤（色調、性状など）、包装・価格、その他（販売会社名など）が掲載されています。

巻頭には「知っておきたいクスリの知識」と「製品紹介」（製品のカラー写真）が、巻末には成分索引（有効成分のみ）、症状別索引、製品名索引、会社名別索引があるほか、「一般用医薬品の区分リスト」などの付録もあります。

3. インターネット情報

『医薬品医療機器総合機構』

（医薬品医療機器総合機構）

（<https://www.pmda.go.jp/>）

ホーム＞一般の方向け＞一般の方におすすめのコンテンツ

「患者向医薬品ガイド」

（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/items-information/guide-for-patients/0001.html>）

特に注意が必要な医療用医薬品について、添付文書情報を患者向けにわかりやすく説明しています。

「一般用医薬品／要指導医薬品の添付文書」

（<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/otcSearch/>）

一般用・要指導医薬品の添付文書について名称・薬効分類・更新年月日等から検索できます。

「緊急安全性情報・安全性速報（患者向け）」

（https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/properly-use-alert/0005_c.html）

緊急に安全対策上の措置を取る必要のある医薬品について、患者向けに発行されるブルーレーター・イエローレーターが掲載されています。

『iyakuSearch（医薬品情報データベース）』

（日本医薬情報センター）

（<https://database.japic.or.jp/is/top/index.jsp>）

日本医薬情報センター（JAPIC）が提供する国内外の医薬品情報に関するデータベースです。

医薬品に関する文献情報、医薬品に関する学会演題情報、一般用医薬品および医療用医薬品の添付文書情報ほか5つのデータベースを無料で検索できます。

4. その他

当室に開架されている資料は、当館所蔵資料のごく一部です。本・雑誌の大部分は立入不可の書庫にあります。

書庫の資料を利用する場合は、「**国立国会図書館オンライン**」から、キーワード（雑誌記事名、著者・出版社なども含む）で検索し、申し込みます。



さらに詳しい調べ方の案内は、リサーチ・ナビ「科学技術・医学」に掲載されています。

（<https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>）

国立国会図書館 科学技術・経済情報室

令和3年6月改訂

さらに詳しい調べ方の案内が、リサーチ・ナビ「科学技術・医学」「経済・社会・教育」に掲載されています。

（<https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>）